

## 1. 概要

「水防災意識社会再構築ビジョン」（平成28年8月策定）の取組方針に基づいて、平成28年度の取り組み成果と今後の課題及び平成29年度の取り組み予定について共有を行った。

また、タイムラインや避難訓練、防災訓練を通して避難意識の啓発等について活発な意見交換が行われた。

## 2. 実施状況

- 日時：平成29年5月23日（火）
- 場所：武雄河川事務所3階 会議室
- 出席者：佐賀市、唐津市、多久市、伊万里市、武雄市、小城市、神崎市、大町町、江北町、白石町、佐賀県、佐賀地方气象台、武雄河川事務所

関係機関約30名参加



## 3. 議事内容

- ①平成28年度協議会の議事概要について
- ②嘉瀬川・六角川・松浦川流域の取組について

## 4. 主な意見・コメント等

### 【タイムラインに関する取組について】

- ・ 経験を積むことによってレベルアップしていくと思っている。
- ・ 細部の行動項目は災害時でないと検証できないところがある。精度をあげるためには、災害後の事後検証が必須である。
- ・ 自分たちが「どの時点で」「どの対応（行動）」をすべきか見えるのが良い。
- ・ 作成したタイムラインを十分使いこなせるように検証していきたい。
- ・ 機械的に対応できるところは、行動が見える化して共有することが大事である。

### 【避難訓練、防災訓練に関する取組について】

- ・ 情報弱者の外国籍市民の方々や大学の留学生などの参加、要配慮者に対する取り組みを充実させていきたい。
- ・ 地域における訓練や市全体の講演会等の開催により、住民の意識を高めている。
- ・ 図上訓練により避難経路を確認している。

### 【全体について】

- ・ 六角川の蛇行して袋状になっている箇所のある地区は、早めの避難行動が必要だと思っている。
- ・ 災害時には、自分の組織がすべきことと他の組織にしてもらうことを把握しておく必要がある。
- ・ ハザードマップは家庭に配っているが、堤防が決壊して家屋が流されるというL2想定に対する避難の仕方を考えていく必要がある。